



水族館が動物を長期的に飼育管理するために必要な繁殖技術として、イルカに人工授精を適用することに。スタッフのモチベーションとなったのは、イルカライブ開園当初から飼育されているにも関わらず繁殖経験のなかったオスのガルに、初めて子孫ができること。職員一同、赤ちゃんの誕生を心待ちしていましたが、残念ながら2月1日に死産となりました。



そもそも鳴くのかも分からぬ鳴き声の録音時間は30分。機材に費やしたお金は数十万。企画倒れにならずに本当に良かった。



「大きい水槽に金魚を1000匹飼育する」。正直、想像していたより大変でした。水質の悪化や病気の発生で問題だけ。試行錯誤してなんとか展示は成功し、たくさんのお客様が写真撮影やSNSにUPしていただけたことが嬉しくて、挑戦してよかったです。